

# やまなしの福祉11

No.356  
2020  
月号



## コロナ禍の地域社会を支える 様々な取り組み



(福)子育て・発達の里  
こころのサポートセンター  
ネストやまなし所長 中嶋 彩さん



山梨県民生委員児童委員協議会  
会長 竹内 稔さん



社会福祉法人 さくら会  
特別養護老人ホーム 風林荘  
施設長 新津 保さん

- P5 山梨県シルバー作品展・俳句大会 入賞作品紹介
- P6 知ろう!さがそう! ふくしのお仕事 P7 ふくしの なるほど!出張セミナー
- P8 「清潔の保ち方~ベッドでの洗髪・清拭(せいしき)~」開催
- P9 市町村社会福祉協議会 地域福祉・ボランティア担当者会議 開催
- P10 赤い羽根共同募金街頭募金 活動報告

最新情報はfacebookでお知らせ中!

山梨県社会福祉協議会



山梨県ボランティア・NPOセンター



# コロナ禍の地域社会を支える 様々な取り組み



山梨県民生委員児童委員協議会  
会長 竹内 稔さん

## 山梨県民生委員児童委員協議会

地域の人々が生活上の悩みを誰かに相談したいときや、福祉や保健の制度を利用したいと考えているときなどに適切なアドバイスをし、問題解決に努める活動をする民生委員児童委員。通常は訪問活動などで地域の人々につながる民生委員の活動は、新型コロナウイルスの影響下でどのように変化し、どのような課題と向き合っているのでしょうか。山梨県民生委員児童委員協議会の竹内稔会長に話を聞きました。

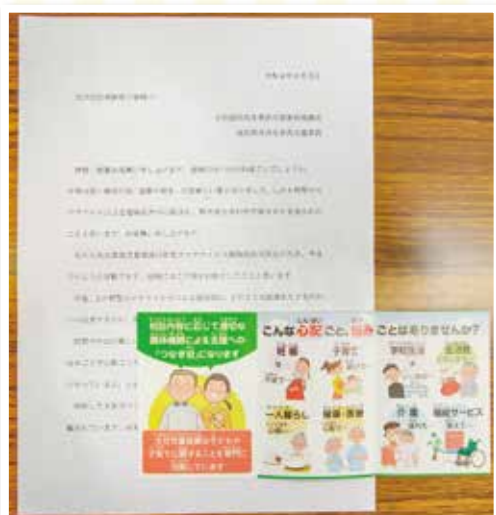
### 現状把握と情報共有の課題

民生委員児童委員の活動は任期3年。現在の委員での活動は昨年12月から始まりました。今年2月頃から新型コロナウイルスの拡がりが増え、人と人の接触や集まりが難しくなり、毎月の定例会ができなくなりました。課題となったのは、研修会を行えなかったことや、引き継ぎが十分できなかった地域もあったこと。各地区の委員はほとんど手探りの状態のまま、活動を始めていかなければいけませんでした。会議を開くことができなかったため、情報共有は文書をベースにしたものになりました。次第に訪問活動を控えるべき状況になり、緊急度の高い相談を除いて訪問活動も停止せざるを得なくなりました。

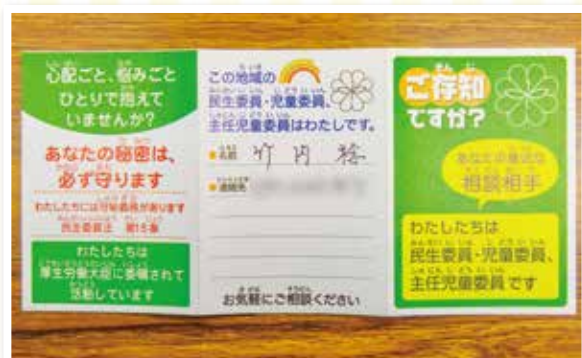
### メモやPRカードなどの コンタクト手法

委員同士が直接集まったり、地域住民の方々に会いづらくなったりする状況の中、求められるのは「訪問」に代わる手段を見つけていくことでした。今、各地域それぞれ工夫をして活動をしています。例えば回覧板のようにして文書を回す地域もあれば、連絡先を記載したPRカードを配布している地域もあります。これまで公民館などで開催していた「サロン活動」は対策を十分にとって、少しずつ再開をしています。

社会も、私たちの生活も変化を余儀なくされ、この先もまだどうなるかわからない状況が続いています。民生委員は各組織や地域との連携をより密にすること、そして地域の状況にあった活動を展開していくことが必要だと感じています。



80歳以上の独居高齢者に宛てた残暑見舞い(左)



取り組みの一例／文書とPRカードで相談を呼びかける

新型コロナウイルスの感染拡大によって、私たちの日常は、ウイルスとの共存を前提とした社会へと変化を余儀なくされました。

そのような中、福祉に関わる人たちは、私たちの暮らしを支えるため、感染症対策に取り組みながら懸命に活動されています。これまでどのような課題に向き合い対応してきたのか、福祉関係者の取り組みを取材しました。

## (福)子育て・発達の里 こころのサポートセンター ネストやまなし

甲斐市にある「こころのサポートセンター ネストやまなし」は、心の悩みや生活のしづらさを抱える方に対して、心理や社会福祉の専門性を活かし、心や発達のサポートを実施している施設です。臨床心理士、公認心理師である中嶋彩所長は、開所前から、心の悩みを持つたくさんの方と向き合い、3年前に「ネスト・ジャパン」と連携しながら同センターを立ち上げました。



(福)子育て・発達の里  
こころのサポートセンター  
ネストやまなし所長 中嶋彩さん

### コロナ禍前後での変化

今回のパンデミックが起きる前の相談は、不登校など、集団の中で生きづらさを感じている、という内容が多数でした。4月に緊急事態宣言が発令されると、同センターでも新規相談を一時ストップせざるを得ない状況となりました。コロナ禍において、人と接する機会を失わないように、相談に来ていた“孤独に陥りやすい”方々との「つながり」を維持しようと、カウンセリングの手段としてリモートを取り入れました。さらに「ここは安心して来ていい」と感じられるような環境づくりに注力し、規制緩和後も継続しています。

利用している  
子どもが描いた  
「感染症対策」の  
ポスター



利用ごとにこまめに消毒

視覚的に子どもたちにも  
わかるよう表示



### 柔軟さが求められる時代

期待していたイベントが中止になったり、予定が変更になったりと、様々なことを制限され、多くの人が“あきらめるストレス”にさらされています。目標を見失ってしまったり、生きる希望を削がれてしまったように感じている人もたくさんいることでしょう。

普段から利用している方に伝えていることは「自分のペースで生きる」ということです。今まで通りができなくなってしまった分、今まで出来なかったことを、今だったらやってみようと思えるような新たな時間の使い方を考えることができるかもしれません。制限されている今だからこそ発想力を活かし、やり方を変えながらできることをできる範囲で続けていく柔軟性が求められるのかもしれません。

つらい面を考えるよりも、少しでも希望に向かえるように…。「のんびりでもいいじゃん」の声掛けを、今後も継続していきたいと思います。



コロナ禍でも  
楽しく過ごせる工夫



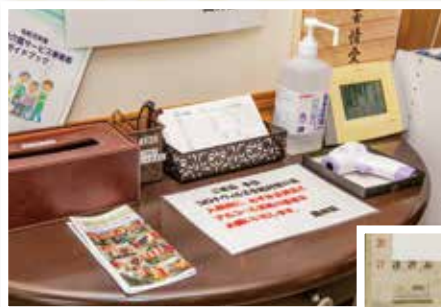
社会福祉法人 さくら会  
特別養護老人ホーム 風林荘  
施設長 新津 保さん

## 特別養護老人ホーム 風林荘

高齢者の命をあずかる甲府市宮原町の「特別養護老人ホーム 風林荘」。コロナ禍での取り組みは「持ち込まない、移さない、拡げない」を基本スローガンに、感染症対策の標準予防策である「スタンダード プレコーション(うがい、手洗い、マスクの着用、一介助一手洗い(アルコール消毒))」を徹底。風林荘全体を一定のバリア内にあるクリーンゾーンという考えで、コロナ禍の生活変化によるストレスを利用者に与えない工夫を施設長の新津保さんに伺いました。

### 接触制限と感染予防対策の徹底

今年3月に新型コロナウイルスの拡がり山梨県内でも危惧されるようになると、「面会の全面禁止」対応を実施。例年インフルエンザ対策としても行っていた経緯がありますので、ご家族は比較的抵抗なく受け入れてくれました。もう一つは、外部との接触を制限したこと。講師を招いて行っていた陶芸教室や絵手紙、習字、ミュージックケアや近隣の保育園の園児の訪問、ボランティアさんによる様々な発表や行事を全て中止しました。あらゆるイベントが無くなってしまふのは悲しいことです。そんな中、職員の工夫で施設内で開催した夏祭りなどのイベントは、思ったよりも利用者から好評でした。



来訪者の検温チェックも必須



職員は専用玄関から入室



### 2023年頃までは、『普通の生活』には戻らない

新型コロナウイルスの流行が収束していない今、感染拡大防止のための様々な取り組みを行なっていますが、見えない相手を前に私たち職員ができることは基本の徹底。私生活でも職場でも「3密」を避けることや、「スタンダード プレコーション」を徹底しています。

ただ、長い取り組みのため職員がプレッシャーを感じ、モチベーションを下げてしまうことがないように、また、入居者様が過大なストレスを感じないように心配りを続けていくことが大切なことだと感じています。



家族との面会は、十分なスペースを確保。施設内をクリーンスペースとしているので間仕切りはあえてせず、入居者様にストレスをかけない心配りをしている



熱中症対策も万全にし、入居者様も大満足だった屋内での『夏祭り』

今回お話を伺った皆さんに共通していた想いは、これまでの日常生活や、家族・地域住民などとの「つながりを保つ」ことでした。人と人が顔をあわせる機会が減ったことで不安や寂しさを感じている人がいるのでは、と心を寄せ、感染症対策を徹底した上で、様々な工夫を凝らしています。

これら地域福祉を支える取り組みは、福祉を必要としている人だけでなく、周りの人たちの安心と笑顔にもつながるものです。コロナ禍の今、「人と人とのつながりの大切さ」が問われているのではないのでしょうか。

# 山梨県 シルバー作品展・シルバー俳句大会 入賞作品紹介

11月号では、「シルバー作品展」で金賞に入賞された6作品と「シルバー俳句大会」で秀作に入選された30句をご紹介します。

山梨県シルバー作品展 金賞



日本画「石の街」  
宮澤 千秋(81歳)



洋画「白樺湖の秋」  
幸 利之(91歳)



書「寅日子句」  
正木 久美子(71歳)



彫刻「万福(能面)」  
荻野 正雄(72歳)



工芸「高野山 金剛峰寺」  
小宮山 秀次(80歳)



写真「竜雲現われる」  
秦 伸一郎(82歳)

年齢は令和3年4月1日時点の満年齢

山梨県シルバー俳句大会 秀作

山田省吾 選	玄関に大きく開く君子蘭 富士河口湖町 流石竹野 九三歳	銀杏散る踊るしぐさの園児かな 身延町 井上麻子 九〇歳	翔ぶものゝみな光りけり麦の秋 笛吹市 渡辺伊都子 八五歳
上田正久日 選	羽子板の音の行き交う甲斐の空 富士川町 有泉政弘 七九歳	生かされて余生賜はり年酒酌む 富士吉田市 宮下まさ子 八八歳	子規詠みし柿は百目か次郎かな 甲府市 加勢昭子 八三歳
加藤勝 選	しぐるるや夫亡き夜の文机 甲斐市 井上伊津子 七六歳	寒行の太鼓の音や一列に 笛吹市 志村美幸 七二歳	四日過ぎ行く先の道日々新た 西桂町 安富英彦 八〇歳
	雪見酒静かに竹の割れる音 中央市 土橋三雄 九四歳	廃村となりし母郷や寒椿 甲府市 上田美弥子 八六歳	大菩薩雲百態に夏来たる 甲州市 秋野正彰 七八歳
	立ち居にも小さなゆとり日脚伸ぶ 山梨市 齊藤富孀子 八八歳	夢に醒め又夢に入る夜長かな 甲州市 土屋和雄 八四歳	若芝を踏みしなやかな嬰の足 富士川町 有泉よ志枝 八一歳
	見晴かす朝の青野に騎馬少女 甲府市 利根川肇 八五歳	ピアノ音が耳を澄せば春よこい 富士川町 志村政子 八七歳	菜の花を揺らし特急あづさ来る 大月市 真道朱實 七六歳
	胸襟を開きて語る難の間 富士吉田市 遠藤憲子 七八歳	余生てふ限りある日日新月异 大月市 小林勝子 七六歳	心音てふ身内の音や寒椿 昭和町 齊藤猛美 七三歳
	諏訪口のすんと暮れてかりんの実 大月市 秋山多美子 八七歳	古稀過ぎて信心堅く花辛夷 北杜市 小泉寛子 七三歳	新米を掬ひて磁気のあるごとし 富士川町 塩澤節子 七一歳
	賽銭をそっと投げ入れ神の留守 富士河口湖町 伊藤和子 六八歳	しぐるるや夫亡き夜の文机 甲斐市 井上伊津子 七六歳	交番で口一文字雪ダルマ 富士吉田市 羽田敏夫 七六歳
	節くれの手よりこぼるる今年米 大月市 小俣秀子 八四歳	落のとう摘みいる余生いとほしむ 富士吉田市 宮下節子 七六歳	春光をちりばめ水車せり上る 北杜市 浅川六子 七九歳

年齢は令和2年6月12日現在

# 知ろう!さがそう! ふくしのお仕事

新しい就活様式ははじめました



仕事を探している人と  
働く人を探している職場とのかけ橋  
福祉人材センターは、福祉の仕事を目指す  
人の相談にのったり、求人情報を提供したり、  
就職先を紹介するセンターです。講座や  
職場体験なども無料で参加できます。

Zoom活用

## オンライン就職相談会

新たな就活で  
あなたにピッタリの  
情報をゲット!!



good!

自宅で相談・面談ができるので、  
感染症へのリスクがない。



good!

LINEで友だちになろう!

公式LINEは、1対1のメッ  
セージ交換だから安心!  
いつでもどこからでもメッ  
セージの送受信ができる。

## 福祉のお仕事 求人求職WEBサイト

URL: <https://www.fukushi-work.jp>

求人情報閲覧の他、求職登録も可能。



check!

福祉のお仕事

検索

紹介状の  
発行も!

### 紹介職種

介護職、相談員・支援・指導員、  
ホームヘルパー、介護支援専門  
員(ケアマネジャー)、看護職、  
保育士、調理員、運転手など  
《無資格・未経験でも、自分の  
できる範囲で働くことができる  
「介護助手」という職種も追加》

### こんな活動をしています!

#### 1) 職業の紹介・就職の相談

仕事を探している人に求人情報の提供や仕事に就くまでのお手伝い  
気になる事業所があれば、見学や体験などの調整を行い、その人の働き方や  
資格にあった施設への就職をサポート。

#### 2) 就職フェア・相談会の開催

大小様々な規模の相談会を開催  
事業所の求人担当者との面談の場を提供  
(例)・マッチングカフェ 個別 毎週水曜日開催  
・地域別就職相談会 小規模 2か月に1回程度  
・福祉の就職総合フェア 大規模 年1回開催

#### 3) 講習会・研修会の開催

小学生から一般向けまで、いろいろな講習会を開催  
(例)小・中・高校生向け「ふくしのなるほど!出張セミナー」

山梨県福祉人材センター  
400-0005  
山梨県甲府市北新1-2-12  
山梨県福祉プラザ4階  
TEL.055-254-8654  
平日9:00~17:00まで

# ふくしのなるほど!出張セミナー 求められる技術、求められる人材を 互いに知る=幸せの連鎖

9月9日、山梨県立韮崎工業高等学校で「ふくしのなるほど!出張セミナー」が行なわれました。つながりが見えにくい工業分野と福祉分野ですが、実は社会全体がより幸せになるためには、その融合が不可欠だといいます。今回は、工業高校ならではのテーマ『介護現場でのロボット導入とこれから求められる人材』について、山梨県立大学の伊藤健次准教授にお話をいただきました。



## 介護ロボットとは?

「情報感知(センサー系)」「判断(知能・制御系)」「動作(駆動系)」

具体的には

- ① 移乗介助
- ② 移動支援
- ③ 排泄支援
- ④ 認知症の方の見守り
- ⑤ 入浴支援
- ⑥ 介護業務支援 など

## 介護現場の現状

身体的負担(腰痛など)があり、人手不足は深刻化。

## 山梨県のロボット導入状況は?

2018年の調査では、4割ほど。導入後も「操作の難しさ」「高価格」「ニーズと合わない」などの理由から、あまり活用されていないのが実情。

## 介護現場でのロボット導入は?

先進的介護の成功モデルは、福岡県北九州市。モノづくりと介護のプロが相互の課題を解決。行政がその間を取り持っている。



## 求められる技術、人材とは……

技術者は最先端の技術を備えたロボットの開発を目指しますが、介護現場では、その技術が逆に使いにくさとなる場合も。介護現場を熟知した人が本当に必要とするロボットの開発が急務で、工業分野、福祉分野の橋渡しをする人材が早急に求められています。

## 社会全体が幸せになるために

介護ロボットに託したことで、要介護者とのコミュニケーションの時間が以前より確保されたという事例も。移乗介助の非装着型・装着型ロボットを使用することで身体的負担も軽減。介護記録作業ソフトは、一部情報の自動記録も可能。時間に余裕が生まれると、心にも余裕が生まれ、「幸せな時間」を感じることができる。



労働環境、人手不足の改善に、ロボットを導入するという考えは素晴らしいと思った。

様々な業界に目を向け、今後の職業選択に役立てたい。

介護を助けるロボットを動かす、作る人にはなれるのだと思った。専門的なことを勉強していき、介護だけでなく人の助けになる物を作っていきたいと思った。

「橋渡しができる人材」という言葉にとても共感した。人の役に立つロボットを開発したいと思った。

今現在学んでいる勉強や技術が「どんなことに役立つのか」ということをイメージしてもらえると良いですね。「モノをつくる」「モノをつかう」ことで「どんな幸せが生まれるのか」を考えてみましょう。たくさんある職業の中の1つの選択肢として、福祉分野を候補にしていだければと思います。



山梨県立大学人間福祉学部  
福祉コミュニティ学科  
伊藤健次 准教授

約65%の生徒が「講義を受けて、福祉や介護に対するイメージが良くなった」とアンケートに答えてくれました。



県内の小・中・高校生を対象にした「ふくしのなるほど!出張セミナー」は、「楽しく、わかりやすい」と好評です。年代に合わせたプログラムにも対応しています。



山梨県立韮崎工業高等学校  
跡部和男 校長

生徒たちが学んでいる工業関連の技術が、介護分野でも必要な技術になり得ることを知るきっかけになったのではないのでしょうか。より福祉や介護について身近に感じることのできる興味深いセミナーでした。自分の進路を考える材料にもしてもらいたいです。

山梨県福祉人材センター  
400-0005  
山梨県甲府市北新1-2-12  
山梨県福祉プラザ4階  
TEL.055-254-8654  
平日9:00~17:00まで

# 「清潔の保ち方～ベッドでの洗髪・清拭(せいしき)～」を開催しました!

介護実習普及センターでは、県民の皆さんに介護についての知識や技術を習得していただくため、様々な講座を開催しています。

去る9月1日(火)には、「清潔の保ち方～ベッドでの洗髪・清拭～」を実施しました。

講師には甲州市社会福祉協議会 訪問看護ステーションの訪問看護師 戸谷 好さんをお迎えし、ベッド上での洗髪の仕方や不快感を与えない清拭の方法などについてご指導いただきました。

## ☆こんな内容を学びました☆

前半の講義では、清潔はなぜ必要なのか、皮膚の役割、加齢に伴う皮膚の変化、また、清潔ケアで大切な事等、清潔に必要な基礎知識を学びました。

また後半は、在宅で清拭・洗髪を行う際に必要な物品や行う際の注意点のお話の後、実際にモデル人形を用いて、ベッドに寝たまま行える洗髪の仕方や清拭の手順、衣服の着脱介助の方法を、先生の体験談を交えて教えていただきました。

今回の講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため講義を中心として、接触を伴う受講者同士の実技は中止しました。

その代わりに、講師にモデル人形を用いてデモンストレーションを行ってもらい、洗髪・清拭のポイントを分かりやすく教えていただきました。



## ☆受講者の声☆

「講師の先生の体験談に基づく内容だったのでよく理解できました。紙おむつを敷いて、髪を洗うなんて驚きでした。」  
(60代・女性)

「今日の講座を聞いて身内が介護が必要になった時、少しは見てやれるような気がしました。本当に良かったです。」  
(70代・女性)

当センターで開催する介護講座は、新型コロナウイルス感染症防止対策を十分に講じたうえで実施しています。手指消毒やマスクの着用はもちろん、座席の間隔を空け換気にも留意しています。また、実技が伴う場合は、今回の講座のようにモデル人形を用いて、講師のみが実施し、受講者は間隔を広く空けて見学していただく形をとっています。

今後開催される予定の講座もあります。ご参加お待ちしております。

問い合わせ・講座申し込み先：  
介護実習普及センター  
☎055-254-8680



# 市町村社会福祉協議会

## 地域福祉・ボランティア担当者会議を開催しました

山梨県社会福祉協議会は、8月28日(金)、山梨県福祉プラザにて「令和2年度 市町村社会福祉協議会 地域福祉・ボランティア担当者会議」を開催しました(参加者19名)。

現在、社会福祉協議会では新型コロナウイルス感染症の影響により、以前のような形で地域福祉・ボランティア活動の推進を行うことが難しく、多くの課題を抱えています。本会議ではコロナ禍における活動状況について市町村社協間で情報交換を行い、活動を維持する方法や代わる活動を検討しました。また、これまでの活動を振り返り、コロナ禍でこそ生まれた地域とのつながりや新たな取り組みがあることが分かりました。

今回は、限られた時間の中での情報交換ではありましたが、社協活動を停滞させない大切さについて学び合い、市町村社協間の連携強化にもつながる機会となりました。



事務局による情報提供の様子



感染予防対策を取ったグループワーク

## 元気に過ごそう！ フレイル予防のすすめ

新型コロナウイルス感染拡大後、外出を控えることで、散歩や買い物の回数や、人と会う機会が減っているのではないのでしょうか。

体を動かさない状態が続くと、心身の活力(筋力、認知機能、社会とのつながりなど)が低下する恐れがあります。この状態を「フレイル」といいます。

新型コロナウイルス感染症に気をつけながら、健康を維持することも大切です。フレイル予防の3つのポイントを知って、元気に過ごしましょう！

食事のポイントや全国各地の体操動画がご覧いただけます。  
厚生労働省  
「日々の健康を維持するために」



### 栄養

3食欠かさずバランスよく食べ、規則正しい生活を心がける。  
毎食後歯をみがく・しっかり噛んで食べるなど口周りの筋肉を保つ。



### フレイル予防

人ごみを避け、一人や限られた人数で散歩をする。  
家の中や庭でできる運動、家事、農作業などで体を動かす。

家族や友人と、電話や手紙、メール、SNSなどを活用し交流する。



### 運動



### 社会参加

# 赤い羽根共同募金運動街頭募金活動

～ご協力ありがとうございました～

山梨県社会福祉協議会は、10月1、2、5日に甲府駅前では県内の福祉団体・施設の皆様とともに「赤い羽根共同募金街頭募金活動」を行いました。3日間で延べ47団体・72名にご協力をいただき、69,937円の募金が集まりました。

また、山梨県ボランティア・NPOセンターでも、10月3日(土)に甲府駅前では「赤い羽根街頭募金ボランティア」を行いました。今年は17名の方にご協力いただき、16,982円の募金が集まりました。



いずれも、実施にあたっては新型コロナウイルスの感染防止に努めながら行いました。

この募金は、山梨県共同募金会に寄託し、さまざまな地域福祉の課題解決や災害時の支援に役立てられます。皆様の温かいお気持ちをありがとうございました。



## 本会ホームページ・広報紙への掲載広告を募集しています

山梨県社会福祉協議会では、本会ホームページ、広報紙への掲載広告を募集しています。申込みは、年間を通じて受け付けております。福祉関係者を中心に幅広い方へ向けて情報をお届けしている本会のホームページ・広報紙を、皆様の広報活動にお役立てください。



ホームページ

【アクセス件数】101,447件(令和2年4月1日～8月31日)  
 【掲載価格】・半期(6ヵ月)10,000円  
 ※12ヵ月単位(上半期+下半期=1年間)  
 20,000円のお申し込みも可能です。



広報紙「やまなしの福祉」

【発行部数】年6回 各8,500部  
 【配布先】都道府県および県内市町村社会福祉協議会、  
 県内福祉施設、福祉行政各部署、公共施設、学校  
 (小・中・高・大学・専門学校)、民生委員児童委員等  
 【掲載価格】1枠20,000円(年間6枠 100,000円)

問い合わせ先：総務企画課 ☎055-254-8680 FAX055-254-8614

## 第68回山梨県社会福祉大会の縮小開催について

山梨県社会福祉大会は、社会福祉の発展に功績のあった個人・団体等を表彰し、感謝の意を表するとともに、記念講演を通じて地域福祉への理解を深める機会として、福祉関係者をはじめ県民の皆様のご参加のもと、毎年開催しております。

本年は、新型コロナウイルスの影響により、一般参加者の募集は行わず、感染防止対策を講じたうえで表彰式典のみを行うことといたしました。

なお、本大会の開催報告は、「やまなしの福祉1月号」にて掲載する予定です。



# 全国200万人加入!! 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償 ボランティア活動保険



## 保険金額・年間保険料 (1名あたり)

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術保険金	入院中の手術		65,000円	
		外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円		
	地震・噴火・津波による死傷		×	○	
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		
年間保険料			350円	500円	

商品パンフレットは  
こちら



(ふくしの保険  
ホームページ)

団体割引 20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

### <基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

## ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

## 送迎サービス補償 (傷害保険)

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

## 福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課 保険会社〉

TEL: 03 (3349) 5137

受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

損保ジャパン日本興亜は、関係当局の認可等を前提として、2020年4月1日に商号を変更し、「損保ジャパン」になります。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763

営業時間: 平日の9:30~17:30 (12/29~1/3を除きます。)

●この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。



善意をありがとう

保存食品等の生活物資のご寄贈



JA共済連山梨(澤井寛 運営委員会会長・写真右)様より、職員の皆様から持ち寄られた保存食品等の生活物資を寄贈いただきました。

生活物資は、NPO法人フードバンク山梨様へ贈られ、夏休み中の生活困窮者宅の支援に活用されます。平成23年から始まったこの取り組みは、今回で18回目となります。ありがとうございました。

マスクのご寄贈

連合山梨(萩原雄二会長・写真左)様より、マスクを寄贈いただきました。



6月中旬から8月上旬にかけて、県内の組合員の皆様に呼びかけ、集められたマスク3,000枚を寄贈いただきました。寄贈いただいたマスクは、県内の福祉施設等に配布させていただき、新型コロナウイルス感染防止対策にご活用いただきます。ありがとうございました。

マスクのご寄贈



山梨流通協議会(桑原孝正会長・写真中央)様、甲州信玄の会(長谷川正一郎会長・写真左)様より、マスク約10,000枚をご寄付いただきました。

5月末から7月末に加盟各社において、マスクの寄付を広く呼びかけ、多くの善意が寄せられました。寄贈いただいたマスクは、県内の在宅障害者福祉団体、児童養護施設等にお渡しし、新型コロナウイルス感染防止対策にご活用いただきます。ありがとうございました。

タオル、マスク、使用済み切手等のご寄贈

フコク生命甲府支社 外野倶楽部(依田ゆかり 会長・写真中央)様より、営業職の皆様の善意の込められたタオル、マスク、使用済み切手等を寄贈



いただきました。社会貢献の一環として、寄贈いただいたタオル等は、県内の社会福祉協議会の高齢者向け福祉サービス等において有効活用させていただきます。ありがとうございました。

アタマのたいそう

～言葉さがし～

カタカナの表のタテ、ヨコ、ナナメの列に秋の言葉が11個かくれているよ!さがしてね。

コ	ヤ	キ	イ	モ	マ
ス	ズ	ム	シ	ダ	ツ
モ	ア	カ	ト	ン	ボ
ス	ミ	イ	モ	ゴ	ツ
ス	カ	ジ	ク	リ	ク
キ	ン	ド	ン	グ	リ

読者アンケートのお願い

今後の紙面づくりの参考にさせていただきますので、ぜひご協力ください。

問1 「やまなしの福祉」の内容はいかがでしたか?

★読みやすさ

- ①とても満足 ②やや満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満

★色・文字の大きさ

- ①とても満足 ②やや満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満

★記事の内容

- ①とても満足 ②やや満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満

★全体満足度

- ①とても満足 ②やや満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満

問2 興味を持った記事を3つ教えてください。

問3 広報紙「やまなしの福祉」で取り上げてほしい内容や広報紙に関するご意見、ご感想をお聞かせください。

宛先

FAX・ハガキ・メールでご回答ください

ハガキ 〒400-0005 甲府市北新1-2-12  
山梨県福祉プラザ4階 山梨県社会福祉協議会 総務企画課  
FAX 055-254-8614  
ホームページ <http://www.y-fukushi.or.jp/>

QRコードからも  
回答できます



～言葉さがし～答え合わせ

11 14

- ①ヨリキ4 ②11 ③カノ ④ニノ ⑤ヨリキ4 ⑥11 ⑦カノ ⑧ニノ ⑨ヨリキ4 ⑩11 ⑪カノ ⑫ニノ ⑬ヨリキ4 ⑭11 ⑮カノ ⑯ニノ ⑰ヨリキ4 ⑱11 ⑲カノ ⑳ニノ ㉑ヨリキ4 ㉒11 ㉓カノ ㉔ニノ ㉕ヨリキ4 ㉖11 ㉗カノ ㉘ニノ ㉙ヨリキ4 ㉚11 ㉛カノ ㉜ニノ ㉝ヨリキ4 ㉞11 ㉟カノ ㊱ニノ ㊲ヨリキ4 ㊳11 ㊴カノ ㊵ニノ ㊶ヨリキ4 ㊷11 ㊸カノ ㊹ニノ ㊺ヨリキ4 ㊻11 ㊼カノ ㊽ニノ ㊾ヨリキ4 ㊿11